

## 東日本大震災ニュース

# = 祈りのきずな =

※3月31日現在までの震災に関するニュースです。連盟の災害対策に関する情報は、連盟ホームページにて日々更新しています。(http://www.bapren.jp/)



▲上・献身者研修会での緊急の祈り会 中・大富教会の金子純雄牧師を訪ねたレスキュー24の方々と仙台の大野さん、盛岡の吉田さん 下・津波被害を被った宮城県石巻の市街を視察する濱野道雄宣研所長

### ■ 3月11日14時46分

長く、大きな横揺れが来た時、連盟事務所では献身者研修会が開催されていました。参加者15名は一樣に青ざめて、テレビに見入りました。盛岡教会と仙台教会の2人も、電話で家族の安否確認をするがつかず。事務所職員も手分けして、北海道や東北の教会に電話をするがつかず。寒くて暗い夜、緊急の祈り会で諸教会や被災地を覚え

て祈り合い、帰宅できなくなった研修会の参加者と職員は事務所まで夜を明かしました。

### ■ 安否の確認

翌々日、少しずつ状況が明らかになり、諸教会(青森県5教会1伝道所、岩手県1教会、宮城県4教会1伝道所、茨城県3教会1伝道所)の教会員の人命、会堂には甚大な被害は無かったことが分かってきました。一方、日本パプテスト同盟の教会が三陸の海岸沿いにあることから心配が続きましたが、少なくとも人命は守られたとの連絡を受けました。しかしこの時点で、地震と津波被害の全貌は見えず、安堵には程遠い日々が続きました。そして、それは地震から3週間が経とうとする今も変わっていません。

### ■ 支援の働き

地震発生翌日の12日、連盟理事会は災害対策本部を立ち上げた。断水の中での愛さん



▲3/20主日・大富教会・断水の中での愛さん

上げ、対応を開始しました。さっそく、ハンガリーと米国から6名のBWAidの災害救援チーム(レスキュー24)が到着。チームは、盛岡と仙台の献身者研修会参加者と共に、13日午後、仙台に向かい、現地での活動を行いました。また、24日は米国・アトランタから酒巻宏明先生、25日には米国テキサス連盟の支援チームが、それぞれ募金を携えて到着し活動を開始しました。

また、新潟県中越地震(04年)の際に発足した北関東地方連合の災害対策委員会は、全国壮年会連合や東京地方連合等の協力を得ながら、連盟の災害対策本部の指示のもとで情報収集と物資の調達・受入れ・仕分け・搬出を担当しました。緊急救援物資輸送は3月15日に第一次派遣が行われ、29日までに、仙台、いわき、茨城等へ9度の派遣を行っています。また、青森・岩手には地

区宣教主事として福田雅祥牧師(函館美原)を派遣し、北海道連合と協働で青森6教会・伝道所と岩手1教会を問安しました。祈りを携えた働きがどんなに現地の教会を励ましたか想像に難くありません。

諸教会を中心に、連盟事務所での一時避難の受け入れを、原発から半径100km圏内の教会・伝道所に通知したところ、郡山コスモス通り教会から教会員母子6名の申し出があり、受け入れを行いました。(宣教部長、災害対策本部事務局長・野口哲哉)

■ 祈りの課題 ■ 巨大地震と津波による災害に加え、原発事故による災害が重なり、地震発生から20日間の経過した今も、被災地では深刻な状況が続いています。共に祈り、支援の働きをお支えください。(災害対策本部長・奥村敏夫、同副本部長・加藤誠)

### ■ 被災地の方々・教会・地域を覚えて、支援活動を覚えて

＜今後の支援の方向性＞災害対策本部では、震災から1か月を「緊急支援期」(第1期)と位置づけ、被災地にある方たちの命を支えるための支援を実施していきます。緊急支援物資についても、自治体からの支援物資が行き届かない、様々な理由からアクセスできない「被災弱者」の方々丁寧に祈りを届けていくことを心がけました。「教会」、「教会を通して地域」、「地域へ直接届けていく」という3つの形で支援を実施してきています。支援の第2期は、仮設住宅などへの移住が可能になるまで長引く避難生活への精神的なケアを含めて、教会にできること、教会が担うべき働きに仕えていきたいと考えています。

### ■ 連盟プログラム・三バプテストの協働、天城山荘の働きを覚えて

＜三バプテストの協働＞今年6月に、日本バプテスト同盟と沖縄バプテスト連盟との「三バプテスト合同牧師研修会」を沖縄で実施予定でしたが、3月28日の準備会の協議の結果、今年には行わず、2～3年後の実施を目途に延期を決定しました。そして、同盟の教会のある地域が甚大な被害を受けているので、情報共有をはじめ協働していきながら、震災の中から見えてくる課題を一緒に分ち合っていくことを確認しました。「首都圏への電力供給のために、福島県の人々にどれほど負担を強いてきたかがまったく見えてない自分たちがいる。沖縄の基地問題の痛みを自分たちの課題としてこれしていないことと同じ構造がそこにあるのではないか」。この協働の中に主の御旨を聴きとっていきたく願います。＜天城山荘の緊急課題＞大震災の影響で3月以降の予約がキャンセルとなり、数千万円の損失となります。避難者受け入れ施設として県に登録するなど緊急の対応をしています。山荘の運営、今秋実施予定の改修工事を覚えてお祈りください。

## 【東日本大震災緊急救援募金のお願い】 目標総額5000万円 (期限：2012年3月末まで)

送金先：郵便振替 00140-9-180881 「宗教法人日本バプテスト連盟総務部」

※東日本大震災募金と明記してください(東北地方太平洋沖地震募金、東北関東大震災でも結構です)。  
※募金は極力教会でまとめて送金ください。海外からの募金は別口座です。総務部までお問い合わせください。

### ＜募金の使途の目安は次の通りです＞

- ①被災教会・伝道所へのお見舞い、建物補修費：2000万円／
- ②被災された教会員(個人)へのお見舞い費：500万円／③被災地の教会が行う地域への支援活動費：500万円／
- ④被災地域への支援活動費：500万円／⑤現地スタッフ活動費・事務局費：1500万円

